

<p>会 報</p> <p>第 81 号</p>	<p style="text-align: center;">Mt. Iwaki Conservation Association</p> <p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">岩木山を考える</p>	<p>2020年4月23日</p> <p style="text-align: center;">発行</p> <p>岩木山を考える会</p> <p>会長 小堀英憲</p>
--------------------------	--	--

2020年度総会の報告

去る4月5日、弘前市民会館中会議室において、2020年度の総会を行いました。

今年には新型コロナウイルスで自粛ムードの中、何名参加してくれるのか心配しましたが、感染のリスクをおして総勢19名と、私の予想を超える参加者があり、改めて会員みなさまの岩木山に対する思いを知ることができました。

会議の方は金枝壽孝氏の司会で、まず会長（私）が挨拶し次に、議長に藤原竹二氏を選出し、議事に入りました。

次第に沿って第一号議案～第五号議案まで各担当が続けて提案し、（内容は議案書参照）

質疑応答では、登山道の危険個所について、風力発電について、動植物調査の扱いについてなどの意見の他、年間の活動の数の多さを知り労をねぎらうありがたいお言葉もありました。お言葉を励みに、総会で決まった活動方針を役員一丸となり実施していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

※新型コロナウイルスの状況によっては、行事の延期や、中止があるかもしれませんので、御容赦願ひします。

小堀英憲 記

☆総会に寄せられた会員の声

総会案内の返信はがきに寄せられた会員の皆様の声をお届けします（紙面の都合上、一部割愛させていただきましたm(_)_m）。

- ・ お世話になっております。会報をお送りくださり、皆様の一生懸命なご活動の様子を知ることが出来まして感謝いたしております。今後さらに会のますますのご発展をお祈り申し上げます。
- ・ 岩木山の動画や写真はTVやインターネットで欠かさず見ております。見れば見るほどいい山コダネシ！世界中が新型コロナウイルスで動きが取れなくなってしまうしまいました。青森は数少ない未汚染地域ですね。皆様のご健康をお祈りしております。
- ・ 体調不良のため欠席させていただきます。新年度の日程等が決まりましたら、

Fax××××に送付してください。いつもご苦労様です。

- ・ いろいろな行事に参席せず申し訳なく思っております。興味深く報告書を見ていつも感心しております。御盛會を祝します。
- ・ 岩木山スカイラインの途中の泉の(清水?)枯渴、硫黄の消失、少雪を危惧しております。地球規模の変動なのか素人判断の日々です。
- ・ ご無沙汰しております。母が認知症の診断を受けてから10年目になります。相変わらず明るく元気にはしておりますが、判断力、理解力の衰えはいかんともし難いところです。そういう事情ですので、総会も残念ですが出席を見送らせていただきます。皆様のご活躍心からお祈りしております。
- ・ 青森市内から見える岩木山はちょっぴり見える場所と堂々とその姿が見える場所、そして雲等により千変万化(?)を楽しんでおります。また、夏泊半島等よりは海、低山、その上に岩木山と、常に山を見て、考える会の存在を改めて思っております。
- ・ 御苦労様です。いろいろな活動に参加できませんが、会報はしっかり読んでいます。
- ・ お便りをいつも楽しみにしております。90歳の夫の事で自由に外出できない状態です。
- ・ コロナウイルスの事もあり、外出を控えています。青森は大丈夫だと思いますが、高齢の事もあり気をつけています。宜しく願います。事務局の皆様ごろうさま。
- ・ 毎度ありがとうございます。手広く広報にご活躍ありがとうございます。最近はまだで障害児状態で残念でいます。よろしく願いいたします。
- ・ 半月ほど入院した時、4階の病窓から、特に朝夕、岩木山を見ては崇敬の念を抱いた。岩木山に負のイメージを付してはならない。
- ・ いつも欠席で申し訳ありません。岩木山の雄姿に慰められる毎日です。出席できませんが皆さまのご活躍に感謝申し上げます。今年も一会員として参加いたしたく存じます。
- ・ 目下自宅リフォーム中です。自然が自然ではなくなっているような今日この頃、岩木山の植物、動物、樹木、貴重ですね。どうぞご盛會でありますように。
- ・ 投函遅くなりすみません。「岩木山を考える」の会報80号の感想を読んでの一言を書きます。小堀さん、川村さん、竹浪協子さんの廻堰で渡り鳥を観察した様子や感動を読み、一度は観察に出かけたいと思いました。また、砂沢ため池は一度も行ったことがないのですが、マガモ・コガモ・カワウはどこかで見えるので目に浮かべることが出来ました。ありがとうございました。
- ・ 会報のおかげで、自然の素晴らしさや自然保護の大切さに気付かせてもらい、楽しんでいきます。4~5年前からと思うけど、101号線を秋田県側に車を走らせると、数本の樹木が丸ごと枯れているのを見かけました。なんとその景色が今では十二湖近辺にも見られるようになり、「ナラ枯れ」と分かりました。

地球温暖化問題、自然保護問題等「岩木山を考える会」の課題大変ですが、楽しませてもらいます。

- ・ 退会します。ふつうに歩くこともむずかしく、このごろは白内障も進み、車の運転も危ない状態です。残念です。
- ・ 毎年多彩な活動を展開していてすごいなと思います。岩木山信仰の事や火山としての姿などについて、市民講座かエクスカージョンを企画してください。
- ・ 山を歩いてゆったりと生きたいと思っています。今後ともよろしく。
- ・ 私はバックカントリースキーを好んで、大鰐スキー場を主に滑走しております。しかし、地球温暖化の影響なのか、4年程前からパウダースノーには逢っておりません。岩木山の積雪も今年は少ないようですが、現状報告をお願いします。
- ・ 稀にみる暖冬で助かりました。当地の最高積雪は約40cmで例年の1/3程でした。今年もどうかよろしくお願い申し上げます。
- ・ 岩木山は満5歳の初登山以来の長い付き合いでした。美しく雄々しい姿がこれからも永く続くことを祈っています。

第1回岩木山講座 春の観察会 【スプリングエフェメラル】

長かった冬も終わり、ブナ林では木々の大きく膨らんだ芽と、地上の草花を見ることができる季節となりました。

岩木山を考える会では、春の百沢スキー場下石切沢周辺の山野草や木々の様子を散策する観察会を5月9日（日）に企画していましたが、新型コロナウイルス禍で行事の中止が続いていて、残念ですが当会としても今回の観察会を中止することといたしました。



状況が落ち着いてきましたら再度企画したいと思います。

金枝 壽孝 記

2011年の石切沢観察会の

第2回岩木山講座 「弥生スキー場跡地観察会」

第2回目講座は6月14日(日)に弥生スキー場跡地で行う予定でした。

この観察会は、弘前市が弥生ネットの支援の下で「親子で自然観察会 in 弥生スキー場跡地(弥生の森)」として開催しています。当会も協力しているので、跡地が回復してきている様子を、「生きものさがし」などをしながら一緒に楽しみたいと考えていましたが、こちらも市の公園緑地課から「参加者の安全を考えて、残念ですが中止とさせていただきます。」との連絡が入りました。そこで第2回岩木山講座も中止といたします。 竹浪純 記



第26回写真展「私の岩木山」を振り返って

恒例の写真展は2月7日(金)～9日(日)NHKギャラリーで3日間行われ、127名の来場者がありました。暖冬の今シーズンでしたが、会期中は大雪に見舞われて少ない来場者でした。当会は昨年、発足から25周年をむかえました。写真展ではそれを記念して年表「25周年のあゆみ」を作成し、写真や当時の新聞記事と共に掲示しました。写真の出展者は13名、出展数は60点でした。写真に添えられた、コメントに、岩木山への思いを感じました。今回は作品のタイトルと、作品の中の一点のみですが、コメントを紹介させていただきます。(筆者が適宜選択しております。勝手をお許し下さい。又、敬称は略します。)

【コメント】

森山豊	1 初冠雪 2 岩木三山 3 深緑時	
宮本孝 紀	1 10月の岩木山 2 8月の岩木山	
倉坪芳 子	1 リンゴ畑から見た小栗山神社と岩木山 2 お山参詣	1 畑から見える岩木山が好きです
尾坂康	1 岩木山神社 お山参詣 2 岩木山神社からお山を見る 3 岩木山 鳥の海火口 4 東北・北海道新幹線はやぶさと岩木山	3 岩木山鳥の海火口からは、岩木山頂と広大な岩木平野、日本海を一望することができます。

岩木山を考える会二十五周年のあゆみ

- 1994年 4月3日 岩木山を考える会発足
設立総会 初代会長に正木進三就任
「岩木山の美しい姿をいつまでも残すために、みんなで考えよう」
- 5月10日 会報「岩木山を考える」創刊号発行
- 7月4日 第一回自然観察会「岩木山をぐるりと眺めてから山麓の自然を観察しよう！」
- 7月9日 シンポジウム①「岩木山を考える―今、岩木山で何が起きているか」
- 7月29日 保安林指定解除への異議意見書提出（155名）
- 9月5日 署名運動開始 記者会見（市役所記者室）
- 12月26日 岩木山弥生スキー場開発中止を求める署名簿（1万7千858名）
岩木山スカイラインスキー場開発中止を求める署名簿（1万7千643名）
- 1995年 1月22日 シンポジウム②「農村の振興と岩木山の環境保全」
基調講演「グリーンストック（緑の資産）運動」
佐藤誠（熊本大学教授）
- 1月28日 第1回写真展「私の岩木山」
- 2月18日 青森県・林野庁・宮林署へ「水源涵養保安林解除に反対する要望書」提出
- 5月19日 県が岩木山の保安林解除申請を取下げ↓岩木山弥生スキー場開発中止
- 6月3日 シンポジウム③「スキー場を考える」
基調講演「スキー場開発の問題点」
藤原信（宇都宮大学教授）
- 1996年 2月18日 シンポジウム④「岩木山と共生する」
基調講演 谷口健（弘前大学）
- 3月1日 弘前市・弘前リゾート開発弥生スキー場事業転換計画
- 5月19日・21日 弥生スキー場跡地レク施設転換策反対のビラ配り
- 9月24日 「弥生地区整備懇談会」に正木会長出席
- 11月2日 シンポジウム⑤「イヌワシと岩木山の環境保全」
基調講演「日本におけるイヌワシの現状と保護」
横山隆一（日本自然保護協会）
- 12月2日 「景観形成重点地域に関する要望書」提出
- 1997年 3月16日 自然観察会「アマルトラッキング」（16名）
- 7月12日 シンポジウム⑥「弥生スキー場跡地利用を考える―森林の復元は可能か」
基調講演「森林生態系復元の意義と可能性」
清和研二（東北大学教授）
- 7月13日 自然観察会「岩木山の環境を探る」
- 1998年 4月11日 1998年度総会 正木会長が顧問に 阿部東 新会長就任
- 6月21日 自然観察会「初夏の岩木山調教策」
- 10月18日 自然観察会「鱒ヶ沢スキー場調査と二子沼観察会」
- 1999年 2月24日 鱒ヶ沢スキー場拡張計画に対する意見申立書提出（青森宮林局）
- 3月19日 第5回写真展「私の岩木山」
- 3月21日 フォーラム「岩木山を語る―むかしと今―」
- 8月26日 鱒ヶ沢スキー場拡張計画中止要望書提出
- 10月9日 「神秀次郎スライドのゆうべ」と
シンポジウム⑦「鱒ヶ沢スキー場の環境アセスメントを視る」
- 2000年 2月16日 東北森林管理局青森分局へ「国有林施策実施計画案」に対する異議意見書と
「拡張予定地の森林保全」を求める署名を提出（1万1千名）
（日本科学者会議青森県支部・鳴沢川を守る会・日本野鳥の会県支部・
同弘前支部・日本山岳連盟弘前勤労者山岳会）

	3月19日	シンポジウム⑧「鱒ヶ沢スキー場と水問題」 基調講演「スキー場の開発効果と住民の生活環境」 神田健策（弘前大学教授）
	6月26日	津軽森林管理署コクドに国有林野使用を許可
	10月8日	シンポジウム⑨「鱒ヶ沢スキー場拡張と冬季アジア大会」（約100名） 基調講演「コクドに売られた岩木山」 谷口源太郎（スポーツジャーナリスト）
2001年	11月24日	鱒ヶ沢スキー場拡張エリア調査
2002年	4月4日	故三上正光事務局長の葬儀
	4月14日	2002年度総会 故三上正光氏の後任に三浦章男新事務局長就任
2003年	2月6日	アジア冬季競技大会モーグルスキー競技抗議行動（7名）
2004年	10月2日	創立10周年鎌田憲講演会（230名）
2005年	2月10、13日	「岩木山の蝶、ゼファルス展」（250名）
2006年	3月31、4月2日	「青森県のトンボ展」
	9月16、17日	東北自然保護の集い（百沢あすなろ荘）（90名）
2007年	9月30日	岩木山コマクサ合同調査（7名）
2008年	5月18日	第41回自然観察会「岩木山滝ノ沢林道沿い」（20数名）
2009年	5月17日	第42回自然観察会「二子沼とブナ林」
2010年	2月20日	フォーラムディスプレイカッショーン 「森の多様な生態系と遊歩道のあり方を伐採から考える」（40名）
	11月29日	三浦事務局長急逝
2011年	10月23日	第4回岩木山講座「赤倉・大石・蔵鬼山神社・鬼神社など神社巡り」（29名）
2012年	4月7日	2012年度総会 竹浪純新事務局長就任
	11月3、4日	第33回東北自然保護の集い（鶴田町つがる富士見荘）（65名）
2013年	9月2、5日	「世界の昆虫展」
2014年	5月17日	「つがる南風力発電」説明会
2015年	9月13日	第3回岩木山講座「岩木山北麓の神社と石神信仰地を巡る」（24名）
2016年	8月11日	岩木山新設弥生登山道開通
2017年	1月28日	正木進三初代会長 ご逝去
	4月2日	2017年度総会（22名）小堀英憲新会長就任
2018年	1月11日	竹谷清光副会長 ご逝去
2019年	5月20日	ミスバシヨウ沼公園駐車場に「コマシジミを守るうー」看板を設置

	3 禊（みぞぎ） 4 コウノトリ	
金 枝 壽 孝	1 北 帰 行 雁 行 飛 行 2 北 帰 行 旅 立 ち 3 夕 焼 け 雲 4 太 陽 柱	1 夕 焼 け 空 の 中 、 北 帰 行 の 鳥 たち が 岩 木 山 を 横 切 っ て 飛 ぶ 様 子 を 撮 影
竹 浪 協 子	1 岩 木 山 一 周 ツーリング 2～4 同 上	1 反 時 計 周 り だ と 下 り が 終 わ り こ れ か ら つ づ ら 折 り の ゲキ坂を登らなきゃいけ ないと覚悟を決めるあたり にある道祖神
飛 鳥 和 弘	1 ニホンザルのグルーミング 「カワセミの子育て」 1 求 愛 給 餌 2 巢 穴 掘 り 3 交 尾 4 捕 食 5 餌 取 り 6 餌 運 び 7 巢 を 出 る 8 巢 立 ち	1 「サルノノミ取り」これは日 常 的 な 挨 拶 行 動 で 、 お 互 い に 毛 づ く ろ い を し 合 っ て い る の で す
花 田 一 雄	1 滝の落込みから 2 不動滝 3 大しめ縄 4 イワウメ 5 ノビネチドリ 6 コミヤマカタバミ 7 イワヒゲ 8 ハクサンチドリ 9 サンカヨウ	3 結 界 エ リ ア
竹 浪 純	1 真 冬 の 陽 光 2 耳 成 岩 の 向 こ う に 山 頂 を 望 む 3 白 神 山 地 の 夜 明 け 4 氷 塊 の 索 道 5 2020, 2, 3	3 太 陽 が 山 体 か ら 顔 を の ぞ か せ 、 白 神 山 地 を 照 ら し 始 め て 、 こ の ま ま 落 ち 着 いた 天 候 が 続 け ば 良 か っ た の だ が ……
阿 部 東	1 アオモリトドマツの再確認	【2019.10.30】

※ 会 場 に 前 会 長 阿 部 東 氏 が 「 岩 木 山 の 昆 虫 」 弥 生 観 察 会 で 採 集 さ れ た
標 本 を 中 心 に し た も の を 2 ケ ー ス 展 示 さ れ ま し た 。

藤 原 裕 貴 子 記

第 5 回 岩 木 山 講 座 「 岩 木 山 の 雪 上 観 察 会 」 を 行 い ま し た

3 月 22 日 (日) 岩 木 山 南 山 麓 で も 湧 水 が 多 い 平 沢 右 岸 と 柴 柄 沢 の 雪
原 (標 高 310～390m) を スノーシューやカンジキをはき12名の参加者で巡り

ました。生き物については、奈良岡さんが講師です。「クスサン」(ヤマユガ科)の一年の成育史の資料を配布し、途中で繭の抜け殻にであった際その説明を受けました。植物とコースの案内は花田一雄さんです。

暖冬小雪で、車道から雪上にはさっと移動。緩んだ雪に時々深くぬかる事がありました。タニウツギ(谷空木、バラになっているので目につきやすい)の名前の由来、カラマツなどに太く巻き付いた藤のツルの巻き方の話しを聞く。また春を告げるマンサクにも出会えました。この数年では初めてです。最後に川の上流に向かっていているというセッケイカワゲラにも出会えました。穏やかな春空の下、岩木山の残雪期の自然を楽しめました。同行した、地元紙記者が、観察会の模様を大きいスペースで記事にして報じてくれました。

藤原 裕貴子 記

雪上観察会 < 感想 >

3月22日岩木山の雪上観察会に参加しました。春桜の頃や新緑の岩木山を巡る事はあったのですが、雪解けの頃は初めてでした。ゆっくり解説をして頂きながら上を向いたり下を向いたり、芽吹く木々の節の形、つるの絡みかた、ドライフラワーとなったツルアジサイ、マンサクの花。2月下旬から続く新型コロナウイルスの影響でイベントの中止、外出の自粛と暗い気持ちで迎える春でしたが、自然の中では毎年同じように春は訪れているのだと感じました。

去年は春から秋頃まで、岩木山でのいろんなイベントに、私自身も参加し楽しみました。

初秋に嶽コース、弥生コースから山頂まで登ったのですが、リフトを使って気軽に山頂に登る軽装の観光客が多いのにもびっくりしました。今年はゆっくり自然観察をしながら、また山のルールを守りながら、岩木山を楽しみたいと思います。結局みんな津軽の人は岩木山が好きなんだと思います。

平田美子 記

行事、会議等の日程のご案内

4月5日の総会后、第1回幹事会を7日に開催し、年間の行事・会議日程を決めました。これまで、岩木山講座への参加のご案内をしてきましたが、それ以外にも調査や刈り払いなどの活動や会議があります。こうした活動にも会員の皆さんに参画していただけるように、日程と申込窓口をお知らせすることにしました。是非、多くの会員の皆さんの参加をお待ちしております。

(申込窓口は、竹浪事務局宛 Tel 070-6952-2614 fax 0172-88-6656 Mail takenami1717@gmail.com)

※新型コロナウイルスの状況次第では、今後中止の可能性もありますのでご了承ください。中止のお知らせは、申込者に個別にお知らせいたします。

5月 9日(土) 第1回岩木山講座 → 中止

- 6月14日(日) 第2回岩木山講座→中止
- 6月21日(日) 追子森(二子沼)登山道調査(往復徒歩)
7:00 嶽温泉駐車場集合
- 6月24日(水) 嶽登山道調査(自動車で8合目ターミナルまで移動、下山)
8:00 嶽温泉駐車場集合
- 6月29日(月) 百沢登山道調査(自動車で8合目ターミナルまで移動、リフト利用、下山)
8:00 岩木山神社集合
- 7月6日(月) 弥生登山道調査(自動車で8合目ターミナルまで移動、リフト利用、下山)
8:00 弥生いこいの広場駐車場集合(下側の駐車場)
- 7月8日(水) ミズバショウ沼付近ゴマシジミ保護のためのススキの刈り払い作業
10:00 嶽湯段温泉途中のミズバショウ沼駐車場集合
- 7月12日(日) 赤倉登山道調査(自動車で8合目ターミナルまで移動、リフト利用、下山)
8:00 赤倉神社前駐車場集合
- 7月20日(月) 長平登山道調査(自動車で8合目ターミナルまで移動、リフト利用、下山)
8:00 鱒ヶ沢スキー場長平登山口駐車場集合
- 8月9日(日) 岩木山登山～修験道の道赤倉コース～(会員対象)
6:30 百沢岩木山神社前集合 乗合で移動
7:30 赤倉神社前出発 12:30頂上 14時 8合目ターミナル
バス利用で百沢岩木山神社まで 乗合で赤倉神社へ移動
解散
- 参加費100円 登山の服装、登山靴、手袋、雨具、昼食、水(雨天中止)
- 8月25日(火) 長平登山道湿地調査
8:00 鱒ヶ沢スキー場長平登山口駐車場集合
- 8月30日(日) 第3回岩木山講座 ゴマシジミ観察会
10:00 嶽ミズバショウ沼公園駐車場集合 参加費100円
- 9月19日(土) 弥生スキー場跡地(弥生の森)秋の観察会
10:00 弥生いこいの広場駐車場集合
- 10月18日(日) 第4回岩木山講座 秋のキノコ汁と自然観察会(場所未定・9月会報で詳報掲載)
- 11月15日(日) 第5回岩木山講座 廻堰で岩木山と野鳥を観る(9月会報で詳報掲載)
- 2月5～7日(金～日) 写真展「私の岩木山」於、NHK弘前支局ホールにて(12月会報で詳報掲載)
- 3月14日(日) 第6回岩木山講座 春の雪上観察会(12月会報で詳報掲載)

座学は現在検討中（9月または冬期間に実施予定。確定し次第会報に掲載）

会員継続と2020年度会費納入のお願い

 平素当会の活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。今年の会費を未納の方には引き続き、会員継続とご協力をよろしくお願いいたします。

幹事募集と幹事会への参加呼びかけ

 会の企画・運営に参加してくださる方を募集しています。まずは、毎月第一火曜日（5月は第二火曜日）に開催している幹事会に顔を出してみませんか？日頃、岩木山についてお気づきのことや考えていることなど、ざっくばらんにお聞かせください。百石町展示館2F 午後6時～。

5/12 6/2 7/7 8/4 9/1 10/6 11/10 12/1 1/5 2/2 3/2

※編集後記

前回の会報発行は12月、あれからたった4か月で新型コロナウイルスによって世界がここまで激変するとは誰が想像できたでしょうか？外出の自粛により町から人が消え特に飲食店の方々は大変困難な状況にあると思います。トイレトペーパーが足りなくて騒いでいた頃はまだ良かったのではないのでしょうか？我が家は農家なので特に仕事には影響ないのですが、子供たちが学校に行けたり行けなかったりで大変です。新型コロナウイルスによる経済活動の低下により大気汚染や温室効果ガスの排出が減少しているというニュースを見ました。そのことだけ見たら良いことだと思いますが、今は全く喜べないです。ひょっとしたら以前より岩木山も少し綺麗に見えるのかもしれませんが。出来ることなら、人類は疫病などによって止む無くではなく、自らの意思とテクノロジーで環境問題を克服して欲しいものです。一刻も早くこの事態が収束することを願っています。

小倉慎吾 記

会報 「岩木山を考える」第81号（2020年4月23日）発行／岩木山を考える会

会長 小堀英憲 〒036-8131青森県弘前市千年4-12-15

／電話 0172-87-1910

事務局 長 竹浪 純／電話 070-6952-2614

郵便振込口座番号 02380-0-37914 振込先：岩木山を考える会